

2026年1月22日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ
株式会社 山 口 銀 行

「九州・沖縄地銀連携協定（Q-BASS）」主催の台湾個別商談会 （Biz Networking for Co-Creation）開催について

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介）の子会社である山口銀行（頭取 曾我 徳将）、北九州銀行（頭取 嘉藤 晃玉）は、九州・沖縄地銀連携協定（以下「Q-BASS」）に参加する九州・沖縄・山口の第一地方銀行11行とともに、『各行の半導体関連企業の取引先と台湾の半導体関連企業との個別商談会』を1月13日に台北市内のホテルにて開催しました。

Q-BASSでは2回目の開催となる今回の商談会では、「持続的な協業による事業成長」をテーマに掲げ、日本および台湾双方の企業ニーズを事前に把握したうえでマッチングを実施しました。本商談会には日本企業10社（うち山口銀行お取引先1社、北九州銀行お取引先3社）と台湾企業12社が参加し、協業や技術交流につながる商談が行われました。また、交流会では、参加企業間の情報交換やネットワーク構築を促進する場となりました。

今後もQ-BASSの活動においては、地方銀行13行が相互に連携・協力することで、九州・沖縄・山口経済の更なる成長を目指して参ります。

【イベント風景】



〈個別商談会開会挨拶〉



〈個別商談会①〉



〈個別商談会②〉



〈企業交流会〉

【山口フィナンシャルグループのマテリアリティ】

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定しています。この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しています。本件は、12のマテリアリティの中で、「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	<ul style="list-style-type: none">①人口減少・少子高齢化への対応②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート③地域コミュニティとの連携強化④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	<ul style="list-style-type: none">⑤省資源・省/創エネルギーへの対応⑥大気汚染・気候変動への対応⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役職員全員の 働きがいへの 取り組み	<ul style="list-style-type: none">⑧人材育成・研修機会の創出⑨安心・安全な労働環境作り⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	<ul style="list-style-type: none">⑪ガバナンス体制・内部統制の強化⑫経営の透明性向上と説明責任

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

山口フィナンシャルグループ 事業成長室
担当：中野 TEL：080-7999-9513